

地域の皆さまへのお詫び

～免震重要棟の耐震性評価に関する弊社対応の不備について～

免震重要棟の耐震性評価に関する弊社対応の不備につきまして、地域の皆さまに大変なご心配とご不安をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。

組織内の情報共有が不十分で、地域の皆さまを最優先に考え、十分なお説明を尽くすことができていませんでした。

これまで行ってまいりました意識改革の取り組みが、まだまだ不足しているという事実を重く受け止め、地域の皆さまのご不安やご懸念に対し十分なお説明ができるよう、更なる対策を講じ、地域の皆さまへの丁寧な情報発信を徹底してまいります。

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所長 設楽 親

免震重要棟の扱いについて

免震重要棟は、新潟県中越沖地震相当の地震に耐えるように設計したものです。福島第一原子力発電所においても、事故時に、緊急時対策所として大変重要な役割を果たしました。

福島第一原子力発電所の事故以降に新たに策定された新規制基準に基づき、改めて見直した基準地震動^{*}に対しては、免震重要棟の機能を維持することができないと評価しました。一方で、多重性・多様性の観点からも、状況に応じて使用することや、耐震構造である5号機原子炉建屋内に設置する緊急時対策所との併用など、何とか活用する方法はないかと検討してまいりました。

最終的に、審査会合での議論も踏まえて、免震重要棟は事故時の緊急時対策所として扱うことはできないと判断し、5号機に設置する緊急時対策所を使用することとしました。

免震重要棟は、新潟県中越沖地震相当の地震には十分耐える設備であるため、今後、有効な活用方法を検討してまいります。



免震重要棟の外観

^{*}原子力発電所の耐震設計において基準とする地震動